

JAセレサ川崎 機関誌

CERESA

8月号

2018 August

No.251

特集

都市農業と生産緑地の未来

<http://www.jaceresa.or.jp/>

Contents

特集 都市農業と生産緑地の未来	3
PICK UP	8
川崎探検隊 栗木・栗木台を歩く	12
逸 私の好きなこと 技術を磨き全国を駆け抜ける 高津区・相馬 観順さん	14
ひゅうまん 地域住民の食を支える 宮前区・関口 俊夫さん	15
POWER全開! 自分なりのやり方で梨園を守り継ぐ 多摩区・樋山 満さん	16
食&農 エダマメ	17
農作業ノート ハイマダラメイガ(ダイコンシンクイムシ)について 営農技術顧問・衣巻 巧	18
農協改革&運勢	19
mail box & クロスワードパズル	20
JAからのお知らせ & 教えてJA! Q&A広場	21
インフォメーション	22
いきいきファーマーズ 麻生区・市川 悟さん(市川 ゆみさん) 宮前区・小泉 秀民さん 高津区・森 恭一さん(森 勝夫さん) 麻生区・野島 昇さん セレサモスからのお知らせ	23
DISH UP! みそバタ肉ジャガ 高津区・斉藤 千代子さん	24

9月の行事予定

5日 (水)	廃ビニール・廃プラスチック適正回収 (9時30分～黒川宮農団地管理倉庫)
6日 (木)	廃ビニール・廃プラスチック適正回収 (9時30分～子母口書庫センター)
17日 (月)	敬老の日
18日 (火)	感謝の集い(東京国際フォーラム)
19日 (水)	感謝の集い(東京国際フォーラム)
20日 (木)	定例理事会
23日 (日)	秋分の日
24日 (月)	振替休日
25日 (火)	感謝の集い(東京国際フォーラム)
26日 (水)	感謝の集い(東京国際フォーラム)

※日程等は変更されることがあります

今月の
表紙



《梨の収穫作業》

今月の表紙は、梨の収穫作業に励む多摩区菅北浦の安藤剛志さん。幸水、豊水など4品種の梨の他、キウイフルーツや柿などの果樹と定番野菜を栽培。主力の梨は畑前で直売や地方発送の他、セレサモス両店に出荷しています。

今年は天候に恵まれ、暑い日が続いたこともあり、「例年以上に甘くておいしい梨ができた」と手応えを感じています。

これからの時期も、最盛期を迎えた梨の収穫や発送準備などで忙しい日々が続きます。

都市農業と生産緑地の未来

良好な都市環境の形成に欠かせない生産緑地。平成34年には現行の生産緑地法に基づいた指定が初めて行われてから30年が経過します。指定後30年を経過した生産緑地は、市町村に買取りの申し出ができるようになり、多くは不動産市場に流れ、大幅に農地が減少することが懸念されています。

こうした動向を踏まえ、今号では、農地等をめぐる制度の変遷を振り返り、昨年6月に改正された生産緑地法等の内容と市内農業の発展に向けたJ Aや川崎市の取り組みを紹介します。かわさき農業の未来を考えるきっかけとして参考にいただければと思います。

（ ※なお、今特集における平成31年度以降の表記に関しては、
新元号が未発表のため、現在の和暦で掲載しております。 ）



都市農地をめぐる歴史

高度経済成長における市街地の拡大・農地の荒廃を背景に、都市の健全な発展と秩序ある整備を目的として昭和43年に都市計画法が制定されました。以降、都市農地を取り巻く環境は、同法ならびにその関連法制・税制によって形成されてきました。

同法の制定によって誕生したのが「区域区分制度（線引き）」。同制度の誕生により、「市街化区域」と「市街化調整区域」という概念が登場しましたが、市街化区域に多くの農地が取りこまれたことにより、多くの問題が引き起こされるようになりました。

市街化調整区域は、「市街化を抑制すべき区域（都市計画法第7条）」。市街化区域は、市街地を形成している区域及び「おおむね10年以内に優先的かつ計画的に市街化をはかるべき区域（都市計画法第7条）」とされています。これにより市街化区域内の農地は、開発を控えた一時的な状態として位置付けられ、この認識に沿って法制・税政上の措置が追従されました。

都市農業を取り巻く制度の変遷



資料：JAグループ神奈川「改正生産緑地法に係る当面の対応について」

生産緑地法

高度経済成長期から安定成長期にかけて都市部では、農地や緑地が宅地に転用され、住環境の悪化などの問題が起きました。

農地の有する環境機能などを考慮し、農業との調整をはかりつつ、良好な都市環境を形成するため、昭和49年に生産緑地法が制定され

ました。同法では、市街化区域内で第一種・第二種（区画整理等の区域内）生産緑地地区に分けられ、指定要件は第一種では面積1ha以上、買取り申出は指定後10年経過。第二種では面積200㎡以上、買取り申出は指定後5年経過となりました。

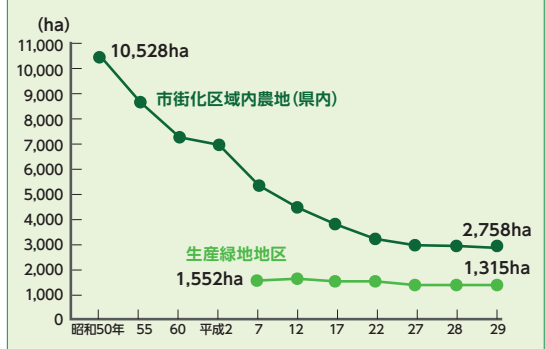
指定を受けると一般農地並みの税制軽減措置を受けることができず、面積基準が厳しく指定はあまり進みませんでした。

平成3年に改正されると、指定基準が大幅に緩和。第一種・二種の区分がなくなり、面積要件は500㎡以上となりました。また、保全する農地としての位置付けを踏まえて、買取り申出開始期間を30年経過後と変更されました。

平成34年以降に起こり得る問題

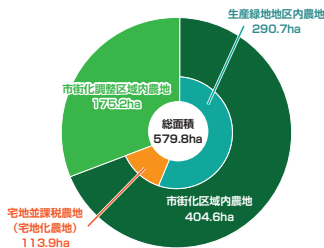
全国にある生産緑地の約80%が、指定後30年となる平成34年に期限を迎えるといわれています。生産緑地以外の市街化区域内農地は一貫して減り続け、神奈川県では40年の間に70%以上減少しました。生産緑地はほぼ横ばいですが、

神奈川県における市街化区域内農地の動き



資料：平成30年度版わたしたちのくらしと神奈川県の農林水産業

川崎市内の農地面積



資料：平成27年固定資産概要調査、川崎農業振興地域整備計画(平成25年12月改定)、川崎都市計画生産緑地地区の変更(平成26年12月告示)

指定解除された場合、市町村がすべての買取りをするのは困難で、宅地に転用され不動産市場に大量に流出することが予想されます。農地の半分が生産緑地に指定されている川崎市も例外ではなく、市内農地が大幅に減少することが懸念されています。

都市農業の維持振興に向け 制度を改正

都市農地の大きな転換期を迎える中、国では、都市農業の安定的な継続をはかるため、平成27年4月に「都市農業振興基本法」を制定。同基本法に基づき、翌年5月には「都市農業振興基本計画」が閣議決定されました。農地は農産物を生産するだけではなく、防災機能や景観形成など農業が持つ多面的な機能が再評価され、都市農業を重要な産業との位置付けを明確にしています。都市農地を「宅地化するべきもの」から都市に「あるべきもの」と認識し、担い手の育成や確保、税制上の措置など、都市農業の振興に関して計画的に講じるべき施策を定めています。

市内農業経営に追い風

一方で、都市農地を重要と捉え

ているのは国だけではありません。JAでは、市内生産者が今後にも安心して営農を継続できる状況を確立するため、市内農業の現状に合わせた条例制定を早期に行うことなど、特段の措置を講じるよう継続的に要請してきました。



特段の措置を講じるよう川崎市に要請

国などの動向を受け、川崎市では28年2月に新たな「川崎市都市農業振興計画」を策定。「次代に引継ぐかわさきの農業」を基本目標に掲げ、市民への農業理解の向上とともに、市内農業者が今後も安心して営農を続けられるよう、向こう10年間を見据えた農業振興の指針を定めています。

また、29年11月から30日間、多面的な機能を持つ都市農地の保全

をはかることを目的に、「川崎市生産緑地地区の区域の面積要件の緩和について」のパブリックコメントを実施。11件の意見等が寄せられ、全てが面積要件緩和に前向きな結果となりました。

市民の意見等を踏まえた条例案をとりまとめ、30年3月に「川崎市生産緑地地区の区域の規模に関する条例」を制定し、生産緑地地区の指定基準等を改正。指定後30年を経過する生産緑地の再指定などに対し、さまざまな緩和策がとられるようになりました。

現行の生産緑地制度の改正に伴い、JAではいち早く生産者に情報を伝えようと、市と協力して新制度に関する説明会を開催。市内農地の保全に向けて、情報を共有しました。

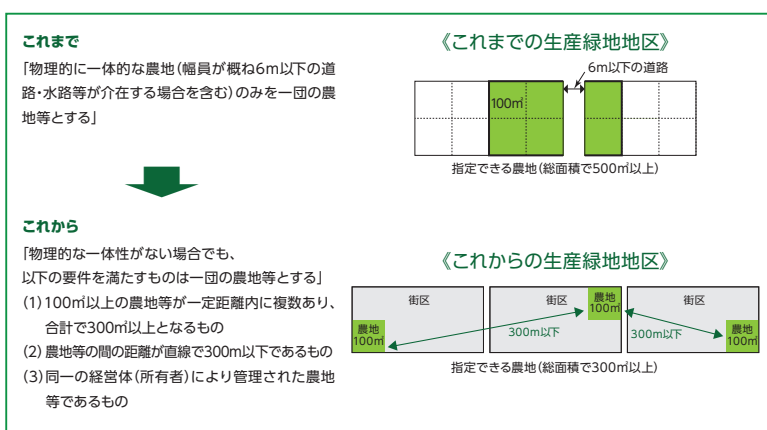


生産者らに改正点を説明

川崎市内における主な改正点は、次の通りです。

緑地の指定基準を緩和

平成30年度からの生産緑地地区の指定にあたり、これまで500㎡以上とされていた生産緑地の面積要件が300㎡以上となった他、一団の農地の取り扱いが次の通り緩和されました。

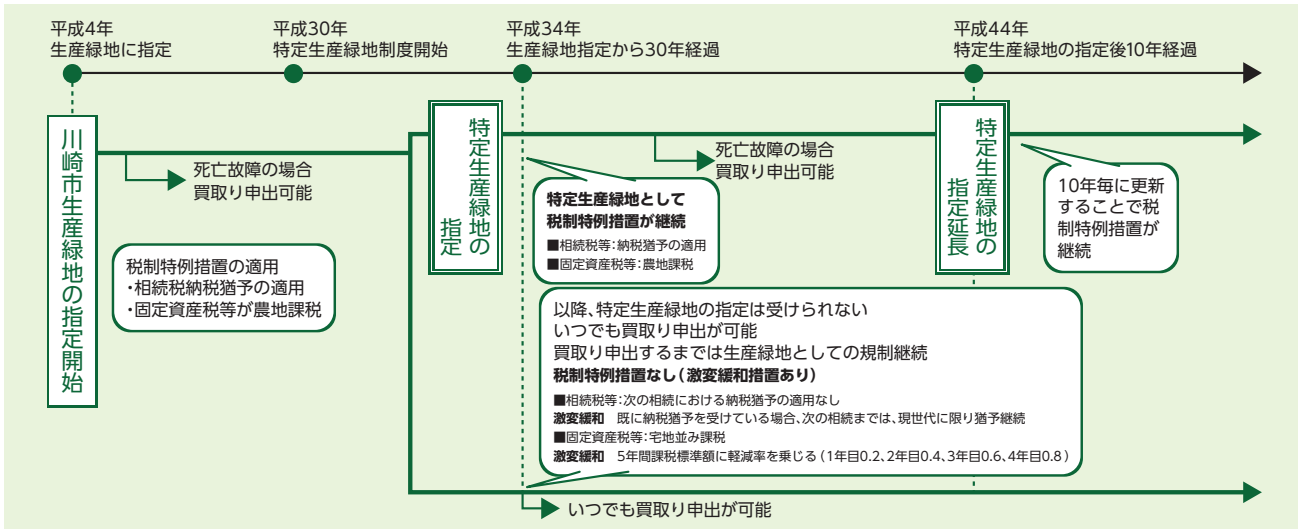


また、過去に買取り申出により生産緑地を解除した農地についても、①主たる従事者またはその世帯員に新たな農業従事者が確保できていること、②新たな農業従事者が営農が可能な健康状態であること、などの基準を満たし、良好な営農状態が将来的に維持されることが認められる場合は、再指定をすることができるようになりました。

これらの指定基準の緩和により、相続等により引き起こる「道連れ解除」の可能性を低くするとともに、小規模な農地についても新たに生産緑地に指定できるなど、生産緑地の指定を受ける幅が大きく広がりました。

指定後30年を経過する生産緑地

指定から30年を経過する生産緑地は市に買取り申出ができるようになりますが、新たに発生した相続に対して相続税納税猶予制度の適用が受けられなくなる他、固定資産税評価も宅地並みとなってまいります。この申出期限を10年延長する「特定生産緑地制度」が今年の4月からはじまりました。



特定生産緑地の申請は、生産緑地に指定後30年を経過するまでに行うこととされている他、該当地の利害関係者全員の同意等が必要になりますが、従来の税制を継続することができません。10年経過後には、再び継続の可否を判断でき、他、相続発生時には次世代が納税猶予を受けて営農を続けるか買取り申出をするかなど、選択肢の幅が広がるメリットがあります。いわば30年間の買取り制限が課されていた生産緑地を、10年ごとに先送りにできる制度とも言えます。同制度の導入により、買取り申出を減少させて宅地転用への対策など、農地を保護する効果が期待されています。

施設設置の制限が緩和

今回の改正により、生産緑地内の農業用施設の設置制限の緩和もされています。従来は、農産物の生産、集荷、貯蔵、処理など生産に関する施設のみ設置可能とされていた生産緑地の面積が300㎡（条例で定めている場合はその下限面積）を下回らないこと、②施

設の敷地面積が生産緑地の20%以内であること、③施設の設置者または管理者は該当生産緑地の所有者であること、④直売所や農家レストランの設置については地元で生産された農産物を調理して提供するものであること（量や金額が概ね50%以上を基準）、以上の要件を満たせば、生産緑地内に直売所や加工所、農家レストランなどが設置できるようになりました。施設の敷地については宅地並み評価となる他、相続税納税猶予の対象とならないため注意が必要ですが、土地活用の幅が広がることで生産者の利益向上につながるため、生産緑地を維持するための有効な改正といえます。



都市農業の新たなスタイル

農地法上、農地は「耕作の目的に供される土地」と定義され、農業用ハウスが建てられている土地についても、地面は常に耕作可能な状態でなければならぬとされています。しかし、近年は農業技術の進歩により、水耕栽培やスマートフォンを使った温室内の管理など、営農形態が多様化しています。

新たな施設や技術を導入するには、地面をコンクリートで覆うことでハウス内の温度や湿度の管理がしやすくなるなどのメリットがあります。現行では「耕作できる土地」ではなくなってしまう。また、生産者は農地転用の許可を受ける必要がある他、転用が認められた場合も相続税納税猶予の対象外となり、固定資産税も宅地並み評価となってしまう。

こうした現状を踏まえ、ハウスなどの地面を全面コンクリートにした場合も農地として取り扱う「農業経営基盤強化促進法」等の改正法が今年の5月に参院本会議で可決、成立しました。コンクリート施工前に農業委員会に届けることを条件に農地転用許可

を不要とし、税制上の優遇が継続されるようになります。施設が倉庫等に不正利用されないかの懸念や監視役となる農業委員への支援策などが焦点になっていますが、年内中に施行されることになっていきます。

また改正法では、農地所有者が相続手続きせずに死亡し、所有権が分散して所有者が不明確な農地を、農地中間管理機構（農地バンク）を通じて担い手に集約する制度も創設されます。農地の貸借には所有者の過半の同意が必要とされています。新制度では元の所有者の配偶者と子に限定。戸籍などで分かる範囲で相続人を探し、貸出すことを半年間公示すれば過半の同意を得たとみなす他、貸出期間も5年から20年に延びます。



生産緑地の貸借が円滑化

「都市農地の貸借の円滑化に関する法律」が今年の6月、衆院本会議で可決、成立し、農地を他人に貸しても所有者に返還させやすい制度を創設。公布から3か月以内に施行されることになりました。

現行の農地法では、農地の貸借契約を一度結ぶと、契約を更新しない旨を通知しない限り更新される「法定更新」が適用されています。一度農地を貸出すと、所有者のタイミングで返してもらえなくなる懸念がありました。また、生産緑地を貸すと相続税納税猶予が打ち切られてしまうため、実質貸付けができない状況でした。

同法では、法定更新適用の例外を設けて貸借期間が終われば所有者に返却されるとともに、納税猶予が継続される措置を新設。さらに「特定都市農地貸付け」の仕組みも盛り込まれ、生産緑地に限り企業などが市民農園用として所有者から直接借りて運営できるようになります。意欲のある農業者に貸すことで、都市農地の維持や有効活用を後押しする施策といえます。

かわさき農業の未来に向けて

生産緑地法が改正されたことで、これまでの税制上の優遇措置はもちろん、担い手への支援や農地の有効活用など、従来よりも生産者や農地に対する制限が大きく緩和されました。平成34年に30年間の期限を迎える多くの生産緑地への対策として、効果が期待されます。

今後も改正がなされる可能性があります。J Aでは、市内農業に関連する制度、税制面の変更点などについて、継続的に情報を発信していきます。皆さんも、ぜひ新たな制度を活用し、市内農業の維持・発展に向けて、生産緑地の継続とともに追加申請を前向きに検討していただければと思います。



さらなる市内農業の振興に向け意思を統一

平成30年度地域農業振興大会を7月11日、本店で開き、業態別組織役員やJA役職員ら224人が出席しました。

大会では、平成28年度に策定した第二次地域農業振興計画の昨年度の進捗状況を報告した他、自己改革の柱でもある農業総合支援対策事業について説明し、組合員へ一層の活用を促しました。

また、川崎の新たな農産物ブランドになることが期待されている「アスパラガス」の新栽培法「採りつきり栽培」を開発した明治大学農学部やパイオニア



パネルディスカッションを行う参加者

エコサイエンス株式会社、麻生区黒川地区の生産者などによるパネルディスカッションも実施。昨年度に採りつきり栽培のモデル地域として栽培に挑戦した生産者を代表して梅澤正廣さんと市川雅貴さんが参加し、「思っていたより難しい技術は要らず、出来栄えや収量も上々だった」などと経験談や今後の課題について意見を交わしました。



熱心に耳を傾ける出席者

そ業部宮前支部メロン部を代表し、井上國夫部長が7月10日に本店を訪れ、かわさき農産物ブランドに登録されている「宮前メロン」を贈呈しました。今年度は2軒の生産者が約4500個のメロンを収穫。上品な香りと甘さを存分に楽しめる出来栄えとなりました。

試食した原修一組合長は、「みずみずしくてとてもおいしい」と絶賛。井上部長は、宮前メロン生産者の減少について触れ、「意欲のある生産者には栽培法を教えて伝統のメロンを継承していきたい」と話し、新規生産者の増加を呼び掛けました。



原組合長にメロンを贈る井上部長

贈呈式でメロンの出来栄え披露

親子で

市内農業を学ぶ

セレサモス麻生店では、7月26日から8月23日までの5日間、農業について学んでもらおうと、小・中学生の親子を対象とした「夏休み親子自由研究セレサモスへGO!」を実施。初日は12人が参加し、農業への理解を深めました。

参加者は、開店前の出荷風景や川崎市が管理するブルーベリー畑を見学。生産者に「暑さによって収穫にどんな影響が出ているか」など積極的に質問し、学習意欲を高めていました。

参加した児童は、「店内見学や生産者から直接話を聞くことができてとても勉強になった」と笑顔で話しました。



生産者に質問する参加者

品質向上に向け知識を深める

果樹栽培講習会を7月5日、モスピーホールで開き、組合員ら54人が参加しました。

例年は講義と実技指導を同時に実施していますが、今回は時間をかけて講義のみを行いました。講習会はミカン、キウイフルーツなど4品目が対象で、JAの片木新作営農技術顧問らが講師を担当。さまざまな事例を紹介しながら品種の特徴や整枝方法、病害虫防除のポイントなどを詳しく説明しました。受講者は、「とてもわかりやすく、今後の栽培に役立てたい」と技術の向上に意欲を見せました。



実物で説明する片木顧問

また、19日には『TEAM梨ノベーション』のメンバー9人が梨園を巡回し、栽培管理などについて情報を共有しました。

当日は、9か所の園内の管理状況や着果数、実の大きさなど生育具合を確認。暑い時期はダニが発生しやすいため、園内を風通しの良い状態に整えようと、いったそれぞれの環境に応じた対策や摘果の適正個数などについて意見を交わしました。

代表の齋藤彰さんは、「今後も仲間と情報交換しながら互いにレベルアップしていきたい」と意欲を語りました。



生育具合を確認するメンバー

品評会で技術の高さを競う

第21回JAセレサ川崎夏季農産物品評会を7月7日、セレサモス宮前店で行いました。

直前の強風の影響もあり、前回よりも出品点数は減りましたが、トマトやジャガイモなど計186点が出品されました。

JAの営農技術顧問ら8人が、実の大きさや色つきなど品種の特性を考慮して厳正に審査。59点を優秀賞や優良賞などに選びました。

審査後は出品物の一般観覧や即売を行い、多くの来場者が品質の高い市内産農産物を買っていただきました。

(優秀賞の受賞者名は21頁に掲載)

市内産農畜産物をPR

地産地消を推進しようと、県下一斉のよい食プロジェクト街頭PR活動を7月5日、小田急線新百合ヶ丘駅前で行いました。

キュウリやトマトなどの市内産農産物と、セレサモスのPRチラシなどを袋に入れ、約1100セットを準備。森安男副組合長をはじめ役員が声を掛けながら行き交う市民に手渡し、市内産農産物の魅力をPRしました。



新鮮な市内産農産物を市民に手渡す森副組合長



出品物を審査する審査員

収穫体験と料理で旬の野菜を堪能



生産者と交流する参加者（中原支店）

中原支店は、夏野菜の収穫体験と料理教室を7月24日、中原区下小田中の小島正夫さんの畑で行い、市内の小学生15人が参加しました。

児童は、収穫方法の説明を受けてからトマトとピーマンを収穫。「大きいのがとれた」などと夢中で楽しんでいました。

体験後は同支店で、収穫した野菜を使ってカレーなど3品の料理に挑戦。タマネギを切った際に目がしみるなど苦戦しながらも、料理を完成させました。

児童は、「自分が収穫した野菜で作った料理はとてもおいしい」と、笑顔を見せました。



協力して料理する女性部員（日吉支店）

また、女性部日吉支部は7月25日、日吉支店で料理教室を開き、女性部員ら30人が参加しました。ふるさとの生活技術指導士の新堀智恵子さんが講師を務め、トマトなど夏野菜を使った料理に挑戦しました。

部員は各班に分かれ、モロヘイヤを茹でて細かく刻んだり、調味料の分量に注意し、「夏にぴったり」などと楽しく話しながら調理。ニンジンごはんの肉巻きおにぎりなど4品を完成させました。

完成後は全員で試食。調理の手順などを確認し合いながら旬の野菜を堪能しました。

市内産野菜を味わい 地産地消を推進



手際よく作業を進める参加者

かわさきそだち料理教室を7月24日、モスビーホールで開き、29人の市民が参加しました。

当日は、ふるさとの生活技術指導士10人が講師を担当。「ナスは火が通りやすいように斜めに切り込みを入れて」などと調理のポイントや手順を説明してから作業を始めました。

参加者は、講師の指導を受けながらトマトや卵などを使った中華うどんやがんもどきなど計4品に挑戦。慣れた手つきで具材をカットして手際よく料理を完成させました。

完成後はみんなで一緒に食べ、市内農業についての質問をするなど、交流を深めながら地場産農畜産物を堪能しました。

初の合同ゴルフコンペで 交流を深める



親睦を深めた花卉部員ら

花卉部は7月19日、稲城市のよみうりゴルフ倶楽部で、全4支部合同のゴルフコンペを初めて開きました。同部員ら16人が参加し、熱戦を繰り広げながら交流を深めました。

同コンペは、普段関わりのない他支部とのつながりを強化し、情報を共有することで市内花き栽培をさらに盛り上げていこうと開かれたものです。

当日は、互いに応援し合いながら18ホール回り、和気あいあいとプレーを楽しみました。

プレー後には各地区の花き栽培の現状などについて活発に意見を交わし、支部を超えた交流を深めました。

とれたて野菜で交流を深める

「あぐりっこ農園」の利用者を対象とした交流会を7月7日と8日、同園五月台と梶ヶ谷で開きました。両日合わせて15組47人の利用者がとれたて野菜を堪能しながら交流を深めました。

同園は、遊休農地の解決策の一つとして、平成29年に開園。生産者やJA職員による栽培指導の他、農具のレンタルなど年間を通じたサポートを受けられるため、「農業初心者でも気軽に始められる」と好評を得ています。

7日には、10組33人の利用者が参加。始めに、梶稔副組合長が「農業の醍醐味である収穫を楽しみながら交流を深め、市内農業への理解を深めてほしい」



丹精して育てた野菜を収穫する親子

とあいさつしました。その後、参加者は自分の区画に分かれ、「大きいキュウリがとれた」などと話しながら手際よく夏野菜を収穫しました。

昼食には、自分たちが収穫したトマトやピーマンなどをトッピングしてピザを作成。「トマトが甘くておいしい」などと笑顔でほおぼり、とれたて野菜を味わいました。また、野菜の重さ当てクイズも行い、参加者全員が交流を深めながら畑で楽しい1日を過ごしました。

親子で農園を利用している参加者は、「自分で育てた野菜は子どももいつも以上に食べてくれるのでうれしい」と笑顔で話しました。



畑でピザ作りを楽しむ親子

ひまわり会の集いで歌と笑いを満喫

セレサひまわり会の集いを7月5日から20日までの6日間、市内4会場で12公演行いました。約8400人の会員がものまねや歌謡ショーを楽しみました。

各会場では、開始にあたり役員より日頃のご愛顧に対するお礼とともに、各事業が順調に推移していることを報告しました。

お楽しみの演芸ショーでは、ゆうぞうさんがものまねを披露し、会場は笑いの渦に包まれました。またメインには紅白歌合戦にも出場している日野美歌さんが登場。ステージから降りて

握手を交わすなどして会場を盛り上げ、代表曲「水雨」など計12曲を熱唱しました。抜群の歌唱力と迫力ある歌声に会場から拍手が送られ、会員は楽しいひとときを過ごしました。



ステージを降りて観客と握手をする日野さん

要望実現に向け 活発に意見交換

自民党川崎市議団との予算要望ヒアリングを7月4日、川崎市役所で行い、市議会議員やJA役員ら20人が出席しました。

JAは、生産緑地の貸借などに相続税納税猶予制度が適用されるようになったことに触れ、農業用施設用地も制度の対象とすることや、市民防災農地に係る独自の予算編成など6項目を

要望。議員らは都市農地が担う役割の重要性を受け、要望の実現に向けて理解を示しました。



活発に意見を交わす出席者

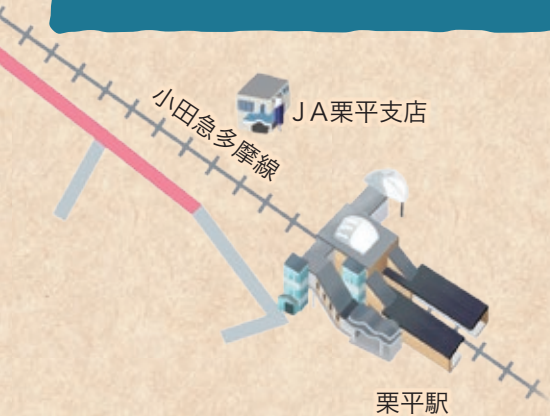


栗木・栗木台を歩く

麻生区栗木・栗木台

麻生区の北西部に位置し、小田急多摩線が走る多摩丘陵地帯。東京都稲城市、町田市と隣接しており、住宅が多い地域であるとともに、山林や農地も多く残されている。

歴史を感じる街歩き



今回は小田急多摩線栗平駅で下車し、南口から街歩きへ出発します。

改札を出て右手側に歩きます。信号を越えて公園を左に曲がり、しばらく住宅地を歩き進むと、「林清寺」に着きました。境内の風景を眺めながら厳かな気持ちで本堂を参拝しました。

寺を後にして再び歩き進むと、見上げるほど大きな石碑を見つけました。鳥居をくぐるとひと際目立つ社殿が！神社の方と話を伺うと、「地域の末永い平和と繁栄の御加護を願い栗木御嶽神社の名がついた」と教えていただきました。神社では年間を通して様々な行事も行われているそうです。

次はどこに行こうか考えていると地域の方が「地酒専門店があるよ」と教えてくれたので、早速向かってみます。

住宅地を進むと、「飯草酒店」の看板が見えてきました。店内に入り、店主のおすすめるのお酒を紹介していただきました。こちらではお酒だけでなく、前掛けやTシャツも販売しているそうです。

店を出ると、隣に「おにぎり」や「お惣菜」ののぼり旗を発見！ちよつどお腹もすいたので、惣菜やカレーなどを購入し、その場でいただきました。

お腹を満たし、街歩きを再開します。すると、「常念寺」に到着しました。境内の親鸞聖人像や六地藏を拝見したところ、今回の街歩きは終了。

地域に親しまれる場所を訪ね、歴史を肌で感じた1日となりました。



5

常念寺



4

栗木っちゃん



「大人から子どもまで気軽に立ち寄れる店にしたい」との思いで2017年6月にオープンしました。約40種類の惣菜やおにぎり、カレーライスなどを販売しています

おいしそうな品々

惣菜がずらりと並ぶ店内には、子どもに人気の駄菓子コーナーやイトインスペースも設けてあるので、買った商品を手で食べることもできます

自家製コーナー



セレスモスや店主の畑で採れた野菜を使った手作りの商品が並んでいます



人気の自家製メンチカツ

所 麻生区栗木1-1-1 フィーム1F
営 11:00~19:30 休 年末年始

5

常念寺



浄土真宗本願寺派の寺院。創建当時の本堂は江戸時代中期に焼失し、明和年間に現在の本堂が再建されました。七間四面の本堂内部には内陣・余間・外陣の三室からなり、内陣と外陣の間には矢来という木棚の仕切りを置き、中陣と称した江戸時代独特の様式。このように浄土真宗の建築様式を残しているものは珍しく貴重なものといわれています

所 麻生区栗木203

親鸞聖人像



イボとり地藏?!



六地藏の頭をつけ櫛で撫で、その櫛をイボにつけるとイボが取れるとして信仰されています

1

林清寺



1590年に真言宗の寺として建立されましたが、寺門荒廃のため長津田大林寺五代僧春朔により1654年に曹洞宗に改め開山。また、1966年には寺の裏山に「柿生霊園」を開設しました

所 麻生区栗木台1-15-1

2

栗木御嶽神社

1920年に境内を拡張し、八雲社と御嶽神社を合併し、御嶽神社の名を残しました。厄除けや縁結びに御利益があるといわれています。



立派な鳥居！

どんど焼き

小正月の火祭り行事で、焼いた団子を食べる一年の無病息災を願います

所 麻生区栗木1-10-1

3

地方名酒専門店 飯草酒店



1865年にオープンした名酒専門店。全国の地酒を取り扱い、常時300種類以上の日本酒と100種類以上の焼酎や果実酒などが店内に並んでいます。「名前で選ぶな、内容で選べ」を座右の銘に、味わい豊かな酒類を販売しています

所 麻生区栗木1-1-1

営 10:00~19:00

休 不定期



種類豊富な果実酒

女性に人気の梅酒やモモ、スイカなどのリキュールも販売しています

店主おすすめ



左からAKABU（純米酒）、黒龍（純米吟醸）、列（純米大吟醸）



新鮮な朝どれ野菜

店主とNPO法人ひこばえが共同生産した野菜も売っています。8~9月はジャガイモやタマネギがおすすめです





私の好きなこと

技術を磨き 全国を駆け抜ける



初めてバイクに乗ったのは高校で天台宗の教儀などを学び、大学進学後2年目の時。全身で風を切って走る爽快感に魅了されました。子育てが落ち着いたら10年ほど前に初めて大型バイクを購入。今までと違う馬力や加速力に気持ちが高揚し、北海道から九州まで全国各地を駆け抜け、1日で700km以上走ったこともあります。2年前には山道や林道などオフロードを走るため、ホンダのCRF1000L Africa Twinを新たに購入。慣れない未舗装の道路などでは転倒するこ



ともありますが、汗だくになりながらも全身で200kg以上のバイクのバランスを保ち、徐々に対応できるようにになりました。疲労はありますが、走り切れた時の達成感はとて心地良いです。同じ趣味を持つお檀家さまとのツーリングも楽しみの1つ。多い時には6人ほど集まり、比叡山延暦寺など各地のお寺を参拝しながら、景観やご当地グルメなどを満喫し交流を深めています。今後も運転技術を磨きながら、仲間とのツーリングを楽しんでいきます。

PROFILE

高津区梶ヶ谷
相馬 観順さん

天台宗西福寺第34世住職。バイクの他に、蓮の栽培に力を入れています。植え替えや施肥など年間を通して管理。多くの人が穏やかに参拝できるように心掛けています。



ひゅうまん HUMAN



地域住民の食を支える

宮前区菅生 関口 俊夫さん

義父が経営する精米店で修業を積んだ後、50年ほど前に独立して菅生に米店を開業。後継者不足などから今では近隣に米店は少なく、地域に欠かせない町の米店として長年大きな力を注いでいます。

いざ出店を決めたものの、当時の米穀業は国への登録制。許可が下りる800人以上の顧客名簿を作成するため、飛び込み営業を始めました。当初はこの地での馴染みがまだ薄く、ライバル店との競合から門前払いを受けるなど苦労の連続。それでも「日本人に欠かさない米を届けたい」との一心で朝から晩まで訪問を繰り返しました。小まめに足を運んでいるうちに顔馴染みも増え、あいさつなど些細な会話も増加。「困ったことがあったら何でも相談して」などと積極的に話し掛け、時には新住民の引越しを手伝いながら信頼関

係を築き上げていきました。

順調に顧客を増やして仕事に励んできた中、25年ほど前に全国的な米不足が発生。米を求めるとお客さんに対応しきれず悔しい思いをしました。そんな経験を糧に、「二度と同じことは繰り返さない」と、7年前の東日本大震災時には問屋と交渉を重ねて顧客分は何とか確保。「頼りになる」などの声を受け、お客さんの期待に応えられたことに大きなやりがいを感じました。

最近ではスーパーの出店などにより徐々に規模を縮小しましたが、配達の際には米を使ったレシピを添えたり要望に応じてのしもちを作るなど、よりお客さんに寄り添う経営を続けています。

今後も地域に密着しながら「お客さんの食を支えていきたい」と、2代目の息子と親子二人三脚で米を届けていきます。

POWER 全開!

『自分なりのやり方で 梨園を守り継ぐ』

多摩区菅田堤 樋山 満さん

両親が守ってきた梨園。母が病気で、農作業ができなくなったことを機に就農して33年になります。

子どもの頃から収穫や配送などの手伝いをしていましたが、本格的に就農してみると、剪定や摘果、収穫など1年かけて行う梨栽培は、想像以上に過酷。毎日当たり前のよう作業を行っていた両親の苦勞を痛感しました。

父との作業や果樹栽培講習会で知識と技術を磨く中、父から「人と同じことをしても同じ結果しか生まれない」との教えを受け、これまでの栽培方法と比較しながら、新しいやり方を考えるようになりました。

自農園では「幸水」など複数品種の栽培をしていましたが、限られた畑と人員で効率良く作業を行うため、10年ほど前に方針を転換。栽培軒数が少なく、8月中旬頃から収穫できる大玉の「稲城」1品種に絞り、徐々に切り替えています。

更新作業を進める中、耐病性が備

わっていない若い樹の白紋羽病による被害をどこまで防げるかが大きな課題。菌が根を腐敗させ樹を枯らしてしまう上、植え替え時には、地中に残る感染した根を取り除かないと再発する可能性があります。感染時期は樹によって異なり、発見が遅れて初収穫まで後一歩のところまで枯れてしまった苦い経験も味わいました。被害を抑えるため、防除を徹底する他、日々の観察に余念がなく、大きな実をつけて無事に収穫を迎えた時は、安堵と同時に大きな達成感を得ました。

現在、16アールの梨園で栽培している「稲城」は、自宅前で直売と地方発送を実施。「大きくて甘い」と好評で、父の代からの常連客だけでなく、新しいお客さんも増え、手応えを感じています。

今後もお客さんに喜ばれる梨を手掛けるとともに、自分なりのやり方で代々受け継がれてきた梨園を守っていきます。



Power's Voice

休みができると、富士山など関東近郊の名所へドライブに出掛け、景色やグルメを楽しんでいます。また、読書も好きで最近ではミステリー小説に熱中。朝から読み漁り気がつくと日が暮れていることもあります。

食 & 農

SHOKU & NOU

エダマメ

マメ科ダイズ属。原産地は中国で、日本へは縄文時代または弥生時代に伝わったといわれています。近年は、海外でも「EDAMAME」と呼ばれ、健康食として人気を集めています。エダマメは収穫後、ビタミンや糖度が減少し、ごんごん味が落ちていきます。購入後は、すぐに茹でるようこししましょう。



エダマメコロッケ



材料(6個分)

- エダマメ …… 200g
- ニンジン …… 1/3本
- ジャガイモ …… 3個
- 卵 …… 1個
- 塩、コショウ …… 適量
- サラダ油 …… 適量
- 小麦粉 …… 適量
- パン粉 …… 適量

作り方

- ①エダマメは塩茹でして、さやから出す。ニンジンは小さく切ってから茹でる。
- ②ジャガイモは小さく切って茹で、熱いうちにつぶす。
- ③①と②を混ぜ、塩、コショウを振って混ぜたら成形する。
- ④小麦粉、卵、パン粉の順に衣をつけ、180℃に熱した油で、きつね色になるまで揚げたら、できあがり。

エダマメは、大豆が未熟な緑色の状態のときに収穫したもので、エダマメが完熟すると「大豆」になります。エダマメは野菜でありながら大豆に近い成分を含んでいるため、とても栄養価の高い野菜です。

エダマメの旬は6月から9月頃。一般的に出回っているのは、さやも豆も緑色でうぶ毛が白い「白毛豆(青豆)」です。その他に「茶豆」や「黒豆」などの種類がありますが、その中でもさらに多くの品種があり、現在では400品種以上あるといわれています。

する大豆イソフラボンや抗酸化作用のある大豆サポニンを含んでいます。さらに、コレステロール値の上昇抑制に有効といわれているレシチンも含んでおり、生活習慣病の予防に役立ちます。

購入の際は、さやがきれいな緑色でうぶ毛が濃いものを選びましょう。また、さやがふくらみとして、粒の大きさがそろっているものが良品。実が大きくなり過ぎたものは、香りが薄く食味が落ちる場合があります。エダマメはとにかく鮮度が重要なので、すぐに茹でるようにしましょう。茹でる前にさやの両端を少し切っておくと、塩味が豆に染み込みやすくなります。また、余熱も考慮して茹で過ぎないようにしましょう。

ハイマダラノメイガ (ダイコンシンクイムシ) について



営農技術顧問
衣巻 巧

ハイマダラノメイガは、古くからダイコンシンクイムシとして知られていますが、最近夏季～初秋のキャベツやブロッコリー等のアブラナ科の野菜で被害が目立つ害虫です。幼虫がいろいろな作物の芯部(生長点)を食害するため、特に幼苗期では1匹でも加害を受けるとその株がダメになってしまい、被害が大きくなります。キャベツやブロッコリーでは、定植前～定植時に被害を受けると生長点が食害されるため、生育が停止します。

その後被害株は多数のわき芽が発生し、正常な収穫が見込めなくなります。



ハイマダラノメイガ成虫



ハイマダラノメイガ幼虫

被害が多い作物

ダイコン、キャベツ、ブロッコリー、ハクサイ、コマツナなどのアブラナ科の野菜、フウチョウソウ科のクレオメなどに発生します。



キャベツ被害(幼虫)



ブロッコリー被害

発生の生態

- ・終齢幼虫は15mm程度、胴部は乳白色の地色に褐色の縦縞があり、頭部は黒色です。
- ・成虫は、翅が薄茶～褐色の波紋があり、前翅長9mmで三角のジェット機のような外形をしています。
- ・発生の生態は、不明な点がありますが、関東以西の各地では、5月頃から成虫の飛来が見られることから、成虫は暖地からの飛来によると考えられています。また、関東地域では冬季には死亡し、

越冬する個体はほとんどいないと考えられています。

- ・成虫は、ダイコンでは1株当たり1～10数卵株元の茎、葉に産卵します。一匹の雌の産卵数は、100～200卵と推定されます。産み付けられた卵は、3～5日後に孵化し、中心葉の柔らかい葉肉内に潜り込んで食害し、成長すると生長点近くの芯部に食入します。
- ・幼虫は成熟すると地表部近くに降り、土や砂、葉片で糸を綴って繭を作り、この中で蛹化します。蛹は6～13日で羽化し、羽化後2～3日後より産卵を始めます。卵～羽化・産卵までを約1か月で経過し、年間4～5世代繰り返すと考えられています。

発生しやすい条件

- ・夏季が高温少雨で残暑の厳しい年。
- ・夏季特に8月から9月上旬に被害が大きい。
- ・夏季に播種するダイコン、夏季に播種、定植を行うキャベツやブロッコリー、ハクサイ等に被害が目立ちます。

防除対策

- ・夏季が高温少雨の年は多発生が予想されるので、播種、定植を9月中旬以降にずらす。
- ・夏季(7月～9月上旬)に播種、育苗を行うキャベツやブロッコリー、ハクサイ等は寒冷紗やサンサンネット等でトンネル被覆を行い、成虫の侵入を防ぎます。
- ・トンネルの裾は土中に埋め、成虫や幼虫が侵入できる隙間をなくします。また、成虫の飛来が見られる場合は、育苗中に1～2回薬剤防除を行います。
- ・夏季播種(8月～9月上旬播種)のダイコンは、アブラムシ飛来防止を兼ねて寒冷紗等でトンネル被覆を行います。
- ・多発が予想される場合は、播種時や定植時に薬剤を処理します。その後、被害が見られなくなる時期(9月中旬頃)まで、定期的に防除します。

※ JA では、本欄で執筆している営農技術顧問による営農相談コーナーを開いています。

病害虫被害の場合は、被害作物をお持ちいただくと助かります。開催日は22ページをご参照ください。

農協改革

農水省実施アンケート調査の結果と、
組合員の皆さまとの対話強化

農林水産省は6月19日に「農協の自己改革に関するアンケート調査」の結果を公表しました(結果の詳細は下記HPに掲載)。このアンケート調査は、JAが取り組む「自己改革」の成否を政府が判断する際の統計資料の一つとして活用することを目的としています。

毎年の調査結果では、JAが取り組む「自己改革」の進捗状況などに対するJAと担い手農業者との認識の差(ギャップ)の度合いが注目されます。そして、平成30年度調査結果では前年度に比べ差は縮小(改善)したものの、縮小幅は限られていることが判明しており、現在、JAではさらなる改善に向けて全力で取り組みを進めています。

この課題を解決するには、「組合員の皆さまとの対話」を強化することが最も重要です。当JAでも、8月末までに全ての正組合員の皆さまに対して幹部職員が「自己改革」の進捗状況などを説明する取り組みを展開しています。

なお、今回の訪問活動で使用している説明資料「農協改革・自己改革への挑戦Ⅱ」は、「自己改革」の成果を「目に見える形でお示しする」工夫を施しましたので、改めてご覧いただき、「自己改革」に対する率直な評価などを役職員にお寄せください。



●農林水産省「農協の自己改革に関するアンケート調査」掲載先 (農林水産省HP)
http://www.maff.go.jp/j/keiei/sosiki/kyosoka/k_kenkyu/index.html

組合員に取り組み内容を説明する支店長

9月の運勢

モナ・カサンドラ

♈ おひつじ座 3/21~4/19

【全体運】物事を悪い方に考えそう。あまり深刻にならず、失敗しても笑い飛ばしてしまうぐらいが正解。ハーブティーが吉

【健康運】ストレスを感じがち。適度な気晴らしを

【幸運の食べ物】サンマ

♉ おうし座 4/20~5/20

【全体運】レジャー運が活性化。気の合う仲間と遊びに出掛ければ、大いに楽しめます。クリエイティブな活動にもツキ

【健康運】運動に励むのに最適。体力アップが可能

【幸運の食べ物】サツマイモ

♊ ふたご座 5/21~6/21

【全体運】珍しく感情的になりやすいかも。人の行動に口出しすると、トラブルを招くので、ご用心。笑顔を心掛けて

【健康運】運動不足気味。小まめに動けば好変化が

【幸運の食べ物】アジタバ

♋ かに座 6/22~7/22

【全体運】好奇心を刺激されることがあったら、とことん調べてみるとグッド。新しい趣味や習い事を始めるのも刺激大

【健康運】うっかりしやすい月。けがに気を付けて

【幸運の食べ物】昆布

♌ しし座 7/23~8/22

【全体運】ゆったり過ごせる期間。趣味や好きなことに時間を費やせば、充実感を味わえそう。部屋の模様替えもお勧め

【健康運】食べ過ぎに注意。栄養バランスも大切に

【幸運の食べ物】ミョウガ

♍ おとめ座 8/23~9/22

【全体運】新しいことにチャレンジする好機。未体験の事柄でも思い切ってやってみる価値あり。新発売の商品にも注目を

【健康運】スポーツを楽しめば、体調が向上きそう

【幸運の食べ物】シイタケ

♎ てんびん座 9/23~10/23

【全体運】サービス精神を発揮すると、対人運が好転するはず。面倒見よく接してみても。気分転換にはマッサージが効果的

【健康運】気持ちにゆとりを持つことで、好影響大

【幸運の食べ物】ごま

♏ さそり座 10/24~11/22

【全体運】コミュニケーション運上昇。初対面の人とも楽しく話せそうです。新しいタイプの友人をつくれれば、世界が広がりそう

【健康運】口コミで有益情報をゲット。試してみても

【幸運の食べ物】イチジク

♐ いて座 11/23~12/21

【全体運】発想力が乏しくなり、良いアイデアが浮かびにくい時期です。周囲の意見に耳を傾けることで、意外なヒントが

【健康運】疲れをため込みやすい。しっかり休息を

【幸運の食べ物】トウガン

♑ やぎ座 12/22~1/19

【全体運】アクティブになれる月。積極的な行動がチャンスを育てるきっかけに。また、ふとしたひらめきにも幸運の予感

【健康運】心穏やかに過ごすことで、体調を整えて

【幸運の食べ物】シメジ

♒ みずがめ座 1/20~2/18

【全体運】文句が多く、トラブルメーカーになりやすい暗示。悪いところではなく、長所に目を向けて。玄関掃除で開運を

【健康運】生活リズムが乱れがち。寝不足は避けて

【幸運の食べ物】チンゲンサイ

♓ うお座 2/19~3/20

【全体運】状況判断を間違えやすいよう。大事なことほど即決はせず、人のやり方を参考にして。リフレッシュには観劇へ

【健康運】ストレッチなどで軽く体を伸ばすと◎

【幸運の食べ物】梨



元気がいっぱい!

上作延支店で職員が愛情込めて育てたミニヒマワリが咲き、来店者の目を楽しませていました。



先人の功績を語り継ぐ

高津区久末の妙法寺では7月24日、江戸時代に年貢の減免を求めて命を奪われた先人を語り継ぐ義民地蔵三百二十六回供養が行われました。約30人が参列し、住職の読経とともに焼香して先人の犠牲を悼みました。



作ってみました

「食&農」の記事を読み、ピーマンとジャガイモの肉炒めを作ったところ、あまり食べない主人がよく食べてくれました。切り方を工夫するのも良い方法だと思えます。

(中原区・川口さん)

心が温まりました

「ひゅうまん」の記事を読み、町づくりに貢献している三橋さんに感動しました。

(川崎区・千葉さん)

ついに咲いた!

川崎区小田の金子孝子さん宅の庭で、数十年に一度だけ開花するリュウゼツランが咲きました。



重宝しています

毎月機関誌を愛読しています。農家の情報と活動が身近に発信されていて、消費者にはとても参考になります。また、おとこの料理教室などには初回から参加し、他の参加者との交流を深めています。

(高津区・若槻さん)

縁起の良い花が!

高津区下作延の木所道明さん宅で、珍しいサンスベリアの花が咲きました。サンスベリアの花言葉は「永久・不滅」で、縁起の良い植物だと言われています。

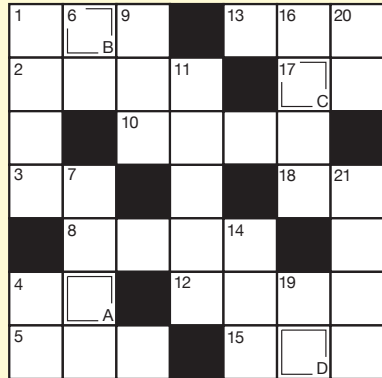


投稿のお礼

たくさんのお便りありがとうございます。これからも「感想等お待ちしております」

(J A 広報課)

クロスワードパズル



6月号のたえ
サイインゲン
応募総数49通
当選者5人の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。
*住所・氏名等の記入忘れがある場合は正解しても無効となりますのでご注意ください。

タテのカギ

- ① 電流を流したり切り切ったりする装置
- ② 深谷、下仁田 九条といえは
- ③ 膝より下、くるぶしより上
- ④ 野山を耕して田畑にすること
- ⑤ 鉄棒や跳び箱を使って行う○○体操
- ⑥ 木を育てたり切り出したり加工したりする仕事
- ⑦ 体の90%以上が水分だという、水にすむ生き物
- ⑧ 年下の女さようだい
- ⑨ 田楽にしてもおいしい紫色の実野菜
- ⑩ あ、おいしそう。ひと○○ちょうだい!
- ⑪ カイコの繭から作ります

ヨコのカギ

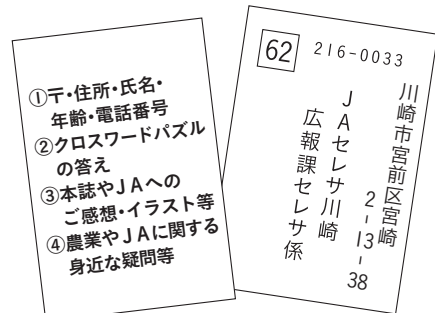
- ① 十五夜に飾る植物
- ② 米の収穫作業の一つ
- ③ エレベーターの表示では「B」
- ④ よく飼われているペットなんだニヤ
- ⑤ 石原裕次郎と牧村旬子のデュエット曲「○○の恋の物語」
- ⑥ ○○足りて礼節を知る
- ⑦ 和風の携帯薬入れ。黄門様のドラマでおなじみです
- ⑧ 恋愛運や金運などを見てもらいます
- ⑨ カラオケ店で離さない人もいます
- ⑩ 招く人がホストなら、招かれる人は
- ⑪ 月の模様はウサギがこれについているように見えるとか
- ⑫ 佐渡島に保護センターがある鳥



◆ 応募方法 ◆

このコーナーでは、身近な出来事など、皆さまからお便りをお待ちしております。お便りをいただいた方およびクロスワードパズルにお答えいただいた方の中から抽選で5人の方に、セレスモス等で使える農協全国商品券1,000円分をプレゼントします。送付方法は郵送で、郵便番号、住所、氏名(匿名の方はペンネームを添えて)、年齢、電話番号を記入し、右記まで送付してください。なお、写真の掲載を希望される方は、プリントを封書でご送付ください。
※匿名を希望される場合は、必ずペンネームをお書き添えください。
※個人情報保護法に基づき、応募された方の個人情報は賞品発送以外には使用しません。

◎締切 9月18日(火) 必着



お寄せ頂いたご感想、イラスト等は本誌で掲載することがあります。

大特価セールで営農支援

サマーセールを7月21日から3日間、経済センター店とパシモンで開き、567人の来店者でにぎわいました。

同セールでは、店舗の在庫商品を10%割引した他、目玉商品として特別仕入れ商品の肥料や農薬などを最大30%割引で販売。来店者は、JA職員から商品の効果やメリットなどの説明を受けながら大特価商品を次々と買い求めました。



資材を積み込む職員

少年野球大会でスポーツ振興に貢献

地域におけるスポーツ振興への取り組みとして、7月14日と15日の両日、中原区上丸子の河川敷で第5回JAセレサ川崎杯少年野球大会を開催しました。当日は猛暑の中、地元の小学生約190人が参加し、熱戦を繰り広げました。

JAは、参加者全員に爽快クールタオルをプレゼントした他、ホームラン賞や支店長賞などの記念品を準備。また、横断幕を掲示し、大会を盛り上げました。



熱戦が繰り広げられた野球大会

晴れの入賞者

敬称略()内住所

そ菜部高津支部第39回枝豆品評会

7月3日 高津支店 出品点数16点

▽優秀賞=湯あがり娘・高橋信一(坂戸)

第21回JAセレサ川崎夏季農産物品評会

7月7日 セレサモス宮前店 出品点数186点

▽優秀賞=ナス・持田栄一(東有馬)、トマト・松井秋彦(初山)、ジャガイモ・筒井正彦(野川)、タマネギ・高橋清一(坂戸)、ミニトマト・森みどり(久末)

そ菜部幸中原支部えだまめ立毛共進会

7月10日 区内巡回 出品点数7点

▽特選=湯あがり娘・鹿島弘久(下小田中)

平成30年度川崎市ナシ立毛共進会

7月20日 市内巡回 出品点数42点

▽特選=幸水・白井正壽(菅稲田堤)、同・川名徹(野川)、幸水・豊水・あきづき・長瀬博明(井田中ノ町)、幸水・豊水・あきづき・新高・安藤剛志(菅北浦)

平成30年度川崎市ナス立毛共進会

7月24日 市内巡回 出品点数12点

▽特選=とげなし千両2号・持田栄一(東有馬)

平成30年度川崎市ブドウ立毛共進会

7月25日 市内巡回 出品点数5点

▽特選=巨峰・藤稔・ブラックビート・白井正壽(菅稲田堤)

振り込め詐欺未然防止で感謝状

振り込め詐欺による被害を未然に防いだことで7月23日、小田支店の藤田太一職員に川崎警察署長より感謝状が贈られました。JAでは今後も詐欺被害の未然防止に努めてまいります。



感謝状を受けた藤田職員

万ーに備えて講習会

普通救命講習を7月20日と23日、本店で開き、2日間で23人の参加者が救命方法などの知識を深めました。

20日には、HPなどで募集した市民やJA職員10人が参加。川崎市消防防災指導公社の滝澤友康氏らが講師を務め、心肺蘇生の流れなどについて説明しました。その後、訓練用の人形に救命処置を施し、胸骨を圧迫するテンボやAED操作などについて学びました。



AEDの操作を学ぶ参加者

教えてJA!

Q&A 広場

農業やJAに関する
身近な疑問等をお寄せください



なるほど。
次回利用させて
もらいます。



Q

使用済みの農業用品の処理に困っています。JAでは回収処理などの対応は行っているのでしょうか。

A

JAでは、不適切な焼却や投棄等によって引き起こされる地域環境汚染を防止するとともに、管内農業の維持に配慮した営農活動の奨励施策として、使用済みの①農業用品(廃プラスチック・廃ビニール・素焼き鉢)、②農薬(使用期限切れの農薬・使用禁止農薬・空容器)の適正回収処理を実施しております。今年度は2回、職員が①では黒川営農団地管理倉庫と子母口JA書庫センター、②では黒川営農団地管理倉庫とアグリベースにて回収を行います。次回は①が9月5、6日、②が8月22日と来年1月23日です。詳細は組合員支部回覧でお知らせしますのでご確認ください、ぜひご利用ください。



【報告事項】

■ 農業総合支援対策事業報告

対象期間：4月1日～6月30日(第一四半期)

	件数
農機購入	214
ハウス設置	15
ハウス補修	43
ハウス内システム設置	8
合計	280

■ 家の光年間購読特別推進運動

目標部数：1,900部

推進期間：8月1日(水)～9月7日(金)

推進対象者：組合員、女性部員等

他20項目を報告

【協議事項 (今後実施すること)】

■ 窓口順番案内機(EYE-QUE)の更新

各支店に設置してある窓口順番案内機は稼働開始から11年を経過し、現在使用している単機能機から来店客が目的とする業務ごとに案内できる高機能機に更新し、窓口業務の改革をはかっていく。また、業務内容の所要時間による振分けにより顧客の待ち時間の短縮に繋がり、顧客満足度の向上をはかる。

作業スケジュール：9月 窓口順番案内機更新工事(予定)

他11項目を協議決定

セレサのDATA (7月31日現在)

購買品供給高	3億93百万円
販売品取扱高	4億82百万円
施設事業契約高	17億49百万円
貯金	1兆4,925億円
貸出金	5,417億円
長期共済保有高	1兆6,815億円
年金共済保有高	346億円
組合員数	67,446人
うち正組合員	5,471人
准組合員	61,975人

営業時間のご案内

- 支店窓口 平日9:00～15:00
- A T M 8:00～21:00
(セレサモス麻生店は営業時間内の稼働)
- 経済センター店
平日・土日9:00～16:30
※祝日は休み
- 資材店舗パーシモン
平日・土日9:00～16:30
※祝日は休み
- セレサモス麻生店 10:00～18:00
- セレサモス宮前店 10:00～18:00
※渋滞緩和のため開店時間を早める場合があります。
(定休日:水曜・年末年始他)

9月の休日住宅ローン相談会

- 22日(土)
鹿島田支店、中原支店、上作延支店、
稲田支店、柿生支店
- 23日(日)
子母口支店、生田支店、新百合丘支店
開催支店または下記ホームページからご予約のうえ、ご来場ください。
ご予約がない方はお待ちいただくことがございます。
※時間は9:00～15:00

9月の営農相談コーナー

- 経済センター店
(宮前区有馬2-13-1)
5日(水)、7日(金)、12日(水)、
14日(金)、19日(水)、26日(水)
- 資材店舗パーシモン
(麻生区片平2-30-15)
4日(火)、6日(木)、11日(火)、
18日(火)、20日(木)、25日(火)
- 時間 9:00～16:00
- 相談員 J Aの営農技術顧問
- その他 予約は不要です。

9月の年金無料相談会

- 2日(日) 小田支店
 - 4日(火) 柿生支店
 - 6日(木) 上作延支店
 - 11日(火) 稲田支店
 - 20日(木) 菅支店
- 開催支店または下記ホームページからご予約のうえ、ご来場ください。

9月のセレササロン

- 6日(木) 中原支店
 - 12日(水) 高津支店
 - 26日(水) 生田支店
 - 内容 アロマキャンドル
 - 会費 1,000円
 - 対象 おおむね60歳以上の方
- お問合せ・お申込み
本店生活福祉課(TEL 044-877-2509)

9月の経営相談会(法律経営)

- 4日(火) 9:30～11:30向丘支店
13:30～15:30中原支店
 - 11日(火) 13:30～15:30みなみ支店
 - 18日(火) 9:30～11:30橘支店
13:30～15:30中原支店
 - 25日(火) 13:30～15:30稲田支店
 - 29日(土) 9:30～11:30梶ヶ谷ビル
- 相談時間は原則30分程度。予約制。
ご予約は相談会の前営業日16:00までに
各会場支店の総合相談担当まで。
(梶ヶ谷ビルは本店資産相談課まで)
土曜日の相談会については、ご予約がない場合は開催いたしません。

セレササービスのご案内

- 第3回人形供養祭を開催します
- 【日程】10月20日(土)
9:00～13:30人形受付
14:00～14:30供養祭(神式)
- 【場所】J Aセレサ梶ヶ谷ビル
高津区梶ヶ谷2-1-7
- 【供養料】1体 100円
ガラスケース:500円(一家族)
ひな壇:500円(一家族)
- 【連絡先】セレササービス(株)
(TEL 0120-3096-56)

9月の遺言信託個別相談会

- 6日(木) 高津支店
 - 12日(水) 宮前支店
 - 13日(木) 向丘支店
 - 26日(水) 日吉支店
 - 時間 9:00～16:00
 - 相談員 J A 神奈川県信連の財務
コンサルタント等
- ・相談時間は原則1時間30分まで。
・ご相談無料・予約制・秘密厳守。
・ご予約は相談会の前々営業日
16:00までにお近くの支店まで。
※開催日に都合がつかない場合は、
お気軽にお近くの支店までお問合せ
ください。
※ J A 神奈川県信連 信託代理店
J A セレサ川崎 本店金融推進部
(TEL 044-877-2140)
当 J A が行う遺言信託代理業務は契約締結の媒介です。





市川 悟さん
(市川 ゆみさん)



- ①麻生区黒川
- ②麻生店
- ③トマト・ナス・ピーマンなど

出荷者のコメント

年間15品目ほどの野菜と花を栽培しています。今年は初めて赤や黄色などカラフルなミニトマトに挑戦。環境モニタリングシステムを活用し、スマートフォンで温室内の温度などを24時間管理しています。8月から出荷していますので、ぜひ手に取ってみてください。

小泉 秀民さん



- ①宮前区馬絹
- ②宮前店
- ③菊・ヒマワリ・ルリタマアザミなど

出荷者のコメント

「四季折々の花を楽しんでほしい」との思いで、110㎡の畑で年間30品目ほどの花きを栽培しています。アレンジメントのレパトリーを増やすため、色数にこだわり、毎年新しい品種にも挑戦しています。ぜひ手に取っていただき、鮮やかな花々をお楽しみください。

森 恭一さん
(森 勝夫さん)

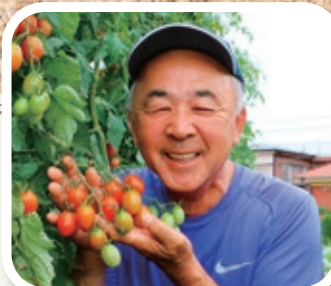


- ①高津区久末
- ②宮前店
- ③トマト・キュウリ・ナスなど

出荷者のコメント

30年ほど前に就農し、消費者のニーズが高い定番野菜を中心に約20品目の野菜を露地と温室で栽培しています。トマトは完熟の状態でお出ししているため、お客さんからは「甘くておいしい」と好評。8月下旬からはナスや水ナスがおすすめ。ぜひご賞味ください。

野島 昇さん



- ①麻生区黒川
- ②麻生店
- ③トマト・ブロッコリー・柿など

出荷者のコメント

年間約40品目の野菜と果樹を栽培しています。早期の出荷と土壌に合う良質な苗を作るため、すべての野菜を種から手掛け、毎日天候の変化に合わせて水の量を調整します。10月以降は、ブロッコリーやキャベツがおすすめ。ぜひ食べてみてください。

①住所 ②出荷店舗 ③主な出荷品目 ※()は出荷登録者名

セレサモスからのお知らせ



セレサモス麻生店

旬を迎えた「多摩川梨」が出荷され、「豊水」など多数の品種が並んでいます。

また、毎年好評の「多摩川梨フェア」も開催します。今年は日照時間が長く、例年より早い収穫期を迎えていますので、品種や日程につきましてはホームページもしくは店頭にてご確認ください。

皆さまのご来店を心よりお待ちしております。

所在地：川崎市麻生区黒川172

電話：044-989-5311

営業時間：〈4月～10月〉10:00～18:00

※渋滞緩和のため開店時間を早める場合があります。

定休日：毎週水曜日、年末年始他

9月の出張販売

6日(木)11:00～小向支店

20日(木)11:00～みなみ支店

お米の日

【麻生店・宮前店】

毎週金・土曜日は1銘柄を2割引で販売いたします。

※割引制度については、予告なく変更する場合があります。

☆セレサモスの駐車場について
警察署からの要請により、路上での入場待ちは一切できません。

セレサモス宮前店

旬を迎えた「多摩川梨」が出荷され、「豊水」など多数の品種が並んでいます。贈答用化粧箱もご用意。大切な方への贈り物にぜひご利用ください。

また、ナスが数多く出荷される予定です。さっぱりとした浅漬や焼きナスなどにはいかがでしょうか。

皆さまのご来店を心よりお待ちしております。

所在地：川崎市宮前区宮崎2-1-4

電話：044-853-5011

営業時間：〈通年〉10:00～18:00

※渋滞緩和のため開店時間を早める場合があります。

定休日：毎週水曜日、年末年始他



材料 (2~3人分)

- ・ジャガイモ…5個
- ・サイインゲン…80g
- ・だし汁…400ml
- ・酒…大さじ2
- ★・砂糖…大さじ1.5
- ・みそ…大さじ2
- ・みりん…大さじ2
- ・サラダ油…大さじ1
- ・ショウガ…1片
- ・豚挽き肉…200g
- ・豆板醤…小さじ1
- ・バター…10g
- ・白髪ネギ…適量

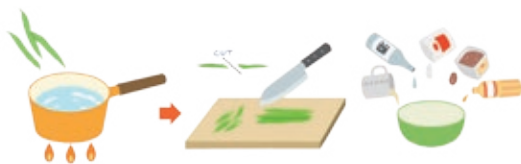
みそバター肉ジャガ

作り方

① 皮をむいたジャガイモを4等分にし、面取りして水にさらす。



② サインゲンを茹でて半分に切る。★は合わせておく。



③ 鍋にサラダ油を熱し、みじん切りにしたショウガを炒め、香りが出たら①と豚肉を加えて中火で炒める。



④ ③に★を加え、落し蓋をして弱めの中火で10~15分ほど煮込む。



⑤ ジャガイモがやわらかくなったら、強火にして煮汁を絡め、汁気がなくなったら豆板醤とバターを加えて混ぜ合わせる。



⑥ ⑤を器に盛り付け、サインゲンと白髪ネギをのせたら、できあがり。



ワンポイントアドバイス



高津区二子 齊藤 千代子さん

バターを加えることでまろやかな味わいになり、豆板醤を多めに入れるとピリッとした辛さが引き立ちます。ご飯のおかずやお酒にも合いますので、一味違った肉ジャガをぜひお試しください。